



■住宅性能・・・被災者の痛みを最小化

- ・公営住宅こそ高断熱・省エネ住宅、2030年基準の断熱省エネ基準としランニングコストの掛からない快適な住空間にします。
- ・住戸内の温度差を無くし、ヒートショック等の影響を少なくした健康に暮らせる住まいづくりを目指します。
- ・調湿性能を持ち100%の施工が出来る断熱材を採用し、遮熱シート・ホルムアルデヒドを吸着分解する通気ボード等を使用します。
- ・性能維持のためLow-Eガラスを使用した断熱サッシを採用します。
- ・住宅性能評価で耐震・省エネ・劣化・維持管理など全てバランスの取れた快適な住まいを作ります。
- ・基礎断熱として床下空間も室内と同じ温度湿度として、床暖房無でも足元の寒さを防ぎます。
- ・熊本県産材(木材)を使用し、熊本県の循環型林業に貢献します。



■平面計画

- ・玄関の向きに左右されない平面計画
- ・ゆったりとした玄関土間
- ・可変性のある間仕切り
- ・コミュニティスペースとなる和室・縁側
- ・バリアフリー
(フラットな床、介助しやすい水まわり、引戸)

住戸面積
2LDK 63.00㎡ 3LDK 71.21㎡

■断面計画

- ・南北開口部を掃き出し窓とし、住まい方によりサブリビングや寝室を使い分けることができます。
- ・招き屋根により強風の影響を分散します。
- ・高窓を活かした採光と換気

